

# Zoom Up

## 人

雪上をスキーで走るのは  
陸上競技とは全然違う感覚  
そこがクロカンの魅力ですかね



### 村上 哲 さん

●むらかみ・さとる 安代中3年生。スキー部に所属し、部長を務める。クラスでは学級委員長を任されている。車が好きで、自動車整備士になることが夢。同校の先輩でもある畠山長太選手を尊敬する。「無駄に力んでしまい、失敗してしまうことがある」と自己分析する。「やるからには最後までやりぬく」をモットーとする。血液型O型のおひつじ座。保戸坂在住。



### 予

想外の優勝。ゴールした直後に、周りの仲間から優勝を伝えられたときは、とても信じられなかったという。県中学校スキー大会クロスカントリ―競技5キロフリーで堂々の優勝に輝いた村上哲さんは、そう感想を聞かせてくれた。

父親に連れられ、小学校に入学する前からスキーを始めた村上さん。もちろん最初はアルペン。しかし、スポーツ少年団に入り、本格的に取り組むようになるころに選んだのはクロスカントリ―だった。「走るこ

道な練習を重ね、力を付けていった。ことしは、スキー部の部長として迎えた中学校最後のシーズン。去年果たせなかった全国中学校スキー大会出場を目標にがんばってきた。そして県大会レース本番。得意にしていた5キロクラシカルで6位に入賞し、不本意な成績ながらも全国大会への出場権を獲得した。入賞はしたが「本当に悔しかったです」という村上さんは、この悔しさを5キロフリーにぶつけ、見事優勝に輝いた。

2度目の出場となった東北中学校スキー大会では、県チャンピオンというプレッシャーから思うような成績が出せず、悔しい思いをした。そして、目標としていた全国大会。全国トップレベルの選手とも、そう大きな差はないと感じた村上さんは「周囲に圧倒されることもなく、リラックスしてスタートでまじした」という。結果は、個人では5キロクラシカルで35位、5キロフリーで69位だったが、得意のクラシカルで県選抜チームの1走を務めたリレーでは、9位入賞を果たした。

スキーで培った根性と底力で村上さんはこれからも夢に向かって走り続ける。